

區長

子弟ノ分籍ハ相應ノ財産ヲ分與スルカ或ハ本人別ニ私産ヲ所有スルカ又ハ工藝等ヲ以テ一家ヲ保續スヘキ目途ナカルヘカラス候處往々些少ノ地所ヲ授受他ニ借家シ或ハ何等ノ業ナシテ實家同居ノ儘分籍願出候者不少不相當ノ次第ニ付右等ノ向ハ一家保續ノ方法確立ノ上出願候様懇篤説諭ヲ可加此旨相達候事

但出願ノ節ハ自今左ノ件々詳記セシムヘシ

- 一 分籍スヘキ者ノ年齢
- 一 分籍スヘキ町村名並地所ノ番號
- 一 分籍スヘキ家ハ新設カ又ハ扣家カ借家カノ別
- 一 本人所有ノ動産不動産ノ高
- 一 父兄讓與ノ動産不動産ノ高
- 一 工藝等ノ有無

(卅五) 子弟分籍取扱手續

乙第百六拾號

區長

子弟分籍ノ儀從前出願致シ來リ候處自今通常分籍ハ出願ニ不及候條本年乙第百廿八號達ノ通相心得區長ニ於テ聞届成規ノ取計可致尤別段事故アル向者其時々伺出何分ノ指揮ヲ受シヘシ此旨相達候事  
但徵兵適齡ノ者分籍ハ同年甲第三拾九號布達ノ通可相心得事  
(卅六) 在監無籍人放還ノトキ定籍方  
明治十五年 九月十一日  
乙第百六十九號

郡町村役所

無籍在監人ハ在監中定籍ノ手續ヲ爲サレムルニ不及本人放還ノ時籍ヲ望ノ地ニ定メレメ典獄ヨリ就籍地戸長ヘ通知書ヲ作り本人ニ携帶セシメ候條戸長ハ該通知書ヲ領手セハ成規ノ通本人ヨリ所轄郡役所ヘ爲願出入籍ノ手續ヲ取計フヘシ此旨相達候事  
(卅七) 服忌京家ノ制被廢  
明治七年十月廿九日 甲第百十五號  
服忌ノ義追テ被仰出ノ品モ可有之候得共差向京家ノ制武家ノ制兩様ニ相成居候テハ法律上不都合有之ニ付自今京家ノ制被廢候條此旨布告候事

明治七年十月十七日

太政大臣三條實美

右之通被仰出候條管内無洩相達スル者也  
(卅八) 平民苗字唱ヘ方  
明治八年二月廿日 甲第百四十六號  
第廿二號

平民苗字被差許候旨明治三年(九月)布告候處自今必苗字相唱可申尤祖先以來苗字不分明ノ向ハ新々ニ苗字ヲ設ケ候様可致此旨布告候事

明治八年二月十三日

太政大臣三條實美

右之通被仰出候條此旨布達候事  
(卅九) 人身書入嚴禁ノ件  
明治八年八月廿九日 甲第百六十三號  
第百貳拾八號(布告)

金錢貸借ニ付引當物ト致候ハ賣買又ハ讓渡ニ可相成物件ニ限リ候ハ勿論ニ候處地方ニ寄リ間ニハ人身ヲ書入致候者モ有之哉ノ趣右ハ嚴禁ニ候條此旨布告候事

但期限ヲ定メ工作使役等ノ勞力ヲ以テ負債ヲ償フハ此限リニアラス

右之通被仰出候條此旨布達候事

第八類 戶籍

(四十) 滿二十年ヲ以テ丁年ト定ム  
第四拾一號布告  
自今滿二十年ヲ以テ丁年ト相定候條此旨布告候事

明治九年  
甲第百二十三號

右之通被仰出候條此旨布達候事  
(四十一) 退轉家并絶家處分方

明治十二年  
七月十五日

乙第百九拾一號

郡 役 所

退轉家并絶家處分之義ニ付嚮ニ内務省へ別紙之通稟議候處今般指令相成候條爲心得此旨相達候事

但該件ニ付既ニ伺出追テ何分ノ指揮スヘキ旨及指令置候向モ本文ノ通心得ヘシ

(別紙)

退轉家處分之義ニ付伺

第一條 絶家再興之節該家遺留財産ノ義ニ付往々紛議不少仍テ自後御省日誌明治九年第貳十六號元盤

前縣伺 同八年十月 同十年第四號廣島縣伺 同九年十月ノ御指令ニ照準失踪逃亡退轉ハ三十六ヶ月後死

失跡ハ直ニ相續人ヲ求メ跡式附與シ若シ其節相續人無之トキハ遺留財産ヲ入札拂ニ附シ負債アルモ

ノハ債主へ償却猶殘餘アルカ及ヒ負債ナキモノハ官没シ窮民救助等ノ資金ニ充候テ不苦哉

第二條 若シ目下適當ノ相續人無之ニ付追テ相續人相求メ候迄遺留財産ハ親族等ニ於テ監守致度旨願

出事情無餘儀相聞候節ハ相當ノ年限ヲ定メ該財産處分猶豫共不苦候哉

第三條 己ニ遺留財産處分相濟後年ニ至リ該家名再興願出候者有之節ハ聞届不苦候哉

第四條 前條々ノ跡相續人ハ亡家ニ對シ縁故無之者ニテモ該家親族協議ニ出ル上ハ聞届不苦哉

右相伺候條至急何分ノ御指揮有之度候也

(指令) 内務省

書面伺之趣左之通可相心得事

第一條 失踪逃亡ノ遺財ハ家族保管シ家族ナキハ親戚々々ナキハ戶長役場ニテ保存シ本人歸來セハ返

付スヘシ負債償却ハ裁判ノ處分ニ任スルモノト雖トモ保管ノ家族等債主トノ示談ヲ以テ償却スルハ

不苦死失跡相續人無之遺財ハ親戚協議ノ上負債アレハ先ツ之レテ償却シ餘財ハ親戚ノ取扱ニ任スヘ

第二條 第一條ニ照考スヘシ

第三條 第四條 伺之通

(四十二) 亡兄ノ遺妻其弟ト結婚方

明治十七年  
三月廿七日

乙第百九拾六號

郡 町 村 役 所

亡兄ノ遺妻其弟ト結婚ノ義ニ付追々及指令置候向モ有之候處有ハ渾テ取消自今該結婚ハ不相成候條此

旨相達候事

但至重ノ事故有之其結婚ヲ爲サレハ事實不都合之義モ有之向ハ其事故ヲ詳記關係ノ者一同連署出

願爲致候義ト心得ヘシ

(四十三) 印影簿編製手續

明治十七年  
十二月廿七日

乙第百三拾七號

郡 役 所

本年當縣甲第六拾八號ヲ以テ印鑑届出ノ儀及布達候ニ付テハ印影簿編製手續別紙ノ通相定候條右ニ據

リ整備可致此旨相達候事

戶 長 役 場

(別紙)

第八類 戶 籍

印影簿編製手續

- 一 印影簿ハ堅硬ノ紙ヲ以テ臺帳ヲ作リ(イ)(ロ)(ハ)四十八部ニ別チ苗字ノ頭字ニ從ヒ印鑑貼付池田ハ
- (一)ノ部六條ハ(ロ)ノ部(橋本)ハスヘ
- (ハ)ノ部ニ從ヒ貼付スルカ如シ
- 但毎部ニ相應ノ餘地ヲ存シ爾後増貼ノ用ニ供スヘ
- 一 改刻ノ印影ハ舊印ノ上ニ貼付シ以テ後年ニ至ルモ舊印影ヲ失ハサルコトヲ要ス
- 一 實印ノ紛失遺失或ハ毀損ヲ届出ルトキハ印鑑ニ其事由及時日ヲ朱書スヘ
- 但一部分ヲ毀損シ猶其儘使用セントスルモノハ更ニ印鑑ヲ出サシメ其事由ヲ記シ舊印ノ上ニ貼付スヘ
- 一 印鑑ヲ貼付シ又ハ遺失紛失等ノ事故ヲ記入シタルトキハ戸長認印ヲ押捺スルコト渾テ別紙様式ノ如シ
- 一 印鑑ニ添ヘタル居書ハ日付ノ順次ニ從ヒ編綴シテ別ニ保存スヘ
- (四十四) 壯年ノ戸主幼齡ノ嗣子ヘ家名譲リ方 明治十九年 五月六日
- 乙第三十七號

郡 役 所  
戸 長 役 場

壯年ノ戸主幼齡ノ嗣子ヘ家名ヲ譲リ候義ニ付テハ明治十七年(一月)乙第拾號ヲ以テ達置候趣モ有之候處自今其義ニ及ハス戸長限リ直ニ處分不苦候條此旨更ニ相達候事

(四十五) 廢戶主廢嫡出願ハ醫師診斷書添付方 明治二十年 十二月十五日

總甲第三十五號

郡 役 所  
戸 長 役 場

明治十二年(二月)丙第拾號達ニ依リ廢戶主廢嫡等ノ出願ヲ爲サシムルニ當リ疾病ノ故ヲ以テスルモノ

ハ醫師ノ診斷書ヲ添付セシムヘ

丙第拾號 明治十二年 月

昨明治十一年甲第二百七十一號布達戸長職務概目第三項中左ノ件々ハ本人ヨリ出願許可濟ノ上送籍并戸籍加除等可取計此旨相達候事

- 一 廢家及廢戶主ノ事
- 一 戸主又ハ嫡子孫 男女子 他ヘ送籍シ或ハ該子孫ヲ摺キ叔姪兄弟姉妹等ヲシテ家名相續セシムル事
- 一 一家女ヲ離縁スル事
- 一 有子ノ寡婦後夫ヲ迎ヘル事
- 一 養子又ハ妻或ハ嫡子孫ノ婦離縁ノ節其子ヲ併セテ實家ヘ送籍スル事
- 一 戸籍誤謬ノ廉ヲ訂正シ及無籍人ヲ編入スル事
- 一 逃亡失踪人ノ家名相續及其夫妻又ハ養子ヲ離縁スル事
- 廿四年三月達甲第八號ヲ以テ八項削除
- 一 分家及亡籍再興ノ事
- 一 士族ノ隱居并家督相續戸主管外ヘ送籍ノ事
- 右ノ外尋常普通ナラサル送籍及順序ヲ超ヘタル相續其他別段ノ事情アルモノハ渾テ伺出指揮ヲ受クヘ

(四十六) 實印彫刻改刻其他届出方 明治十七年 十一月廿四日

甲第六拾八號

明治七年甲第九號布達戸籍編製法第二拾五項中改印ノ二字及同十六年甲第四十八號布達但書ヲ削除シ更ニ左ノ條件ヲ定ム

一 凡ソ新ニ實印ヲ彫刻シ又ハ之ヲ改刻シタルトキハ戸主非戸主ノ別ナク左ノ離形ニ倣ヒ印鑑ヲ製シ三

日以内ニ其所轄戸長役場へ届出へ  
 但從前彫刻ノタル分ニテ現ニ之ヲ使用スルモノハ本文ニ準シ此際届出へ  
 一實印ヲ紛失遺失シ若シハ毀損シテ其使用ヲ廢シタルトキハ其年月日及事由ヲ具シ前項同様届出へ  
 廿三年縣令第六十一號ヲ以テ末項ヲ削除  
 右布達候事

四寸五分

年月日新(改)刻  
 印鑑  
 何郡何町(村)何番戸族職業  
 戸主(何誰長次男)  
 何  
 某  
 年月日届

(四十七) 行旅人罹病凍餓ニ迫リタル者取扱及經費支辨方  
 明治十六年 五月廿五日  
 乙第貳拾八號

郡町村役所

行旅人罹病凍餓ニ迫リタル者取扱方及經費支辨ノ手續自今左之通可相心得此旨相達候事  
 一行旅人途上若シハ滞留中罹病重症ニ陥リ目下捨置キ難キモノハ其地戸長ニ於テ相當ノ救護ヲ爲スへ  
 一前項ニ係ル經費有籍者ハ本籍戸長ニ通報シテ辨償ヲ求メ無籍者ハ郡役所ヲ經テ縣廳へ申出へ  
 一本縣人民ニシテ他方管ノ内外ニ至リ罹病救護ヲ受ケ該費ノ請求アルトキハ戸長ニ於テ其家元ヨリ取立速ニ辨償スへシ若シ家元赤貧ニシテ辨償不能ハサル者ハ詳細事情ヲ具シ郡役所ヲ經テ縣廳へ申出へ

(四十八) 行旅病人救護方  
 明治廿三年 二月廿四日  
 達甲第八號

郡 役 所  
市 役 所  
村 役 場

一行旅病人ヲ救護セントキハ其病狀豫后等ヲ詳記シタル診斷書及費用ノ概算書ヲ添へ三日以内ニ市役所又ハ村役場ニ於テ原籍市役所町村役場ニ通知スへシ  
 但明治十九年乙第二十八號達及ヒ本年達甲第一號ハ自今廢止ス  
 一本縣人民ニシテ行旅中管内外ヲ疾病ニ罹リ救護ヲ受クルモ赤貧ニシテ該費用辨償不能ハサルモノアルトキハ明治十六年乙第二十八號達ニ基キ請求書到達ノ日ヨリ起算三日以内ニ一件書類ノ寫相添へ給與方申出へシ  
 (四十九) 行旅死亡人及病人取扱諸費  
 明治十九年 六月廿四日  
 乙第六拾二號

郡 役 所  
戸 長 役 場

行旅死亡人及ヒ病人取扱諸費ノ義自今左ノ制限ニ依リ支辨スへシ此旨相達候事  
 但傳染病者又ハ傳染病ノ爲メ死亡シタル者ハ此限ニアラス  
 一食料一日分 金拾錢以内  
 一病者診察及死体檢按料 實 費  
 一藥價 同  
 一看護人手當一晝夜 金貳拾五錢以内  
 第八類 戸 籍

- 一 小屋掛料 金七拾五錢以內
- 一 死体監守人手當 金五拾錢以內
- 一 埋葬諸費 金七拾錢以內

但棺桶其他雜品代共

- 一 埋葬人足賃穴堀人足共 金六拾錢以內

一 墓標 金五錢以內

一 揭示札 金五錢以內

(五十) 外國人民ト婚姻差許ノ件

明治六年四月十三日 第五十號布達

第百三號

自今外國人民ト婚姻差許左之通條規相定候條此旨可相心得事

明治六年三月十四日

太 政 官

- 一 日本人外國人ト婚嫁セントスル者ハ日本政府ノ允許ヲ受シヘシ
- 一 外國人ニ嫁シタル日本ノ女ハ日本人タルノ分限ヲ失フヘシ若シ故有ツテ再ヒ日本人タルノ分限ニ復センコトヲ願フ者ハ免許ヲ得能フヘシ
- 一 日本人ニ嫁シタル外國ノ女ハ日本ノ國法ニ從ヒ日本人タルノ分限ヲ得ヘシ
- 一 外國人ニ嫁スル日本ノ女ハ其身ニ屬シタル者ト雖モ日本ノ不動産ヲ所有スルコトヲ許サズ
- 但シ日本ノ國法并ニ日本政府ニテ定タル規則ニ違背スルコトナシハ金銀動産ヲ持攜スルハ妨ケナレトス
- 一 日本ノ女外國人ヲ婚養子ト爲ス者モ亦日本國法ニ從ヒ日本人タルノ分限ヲ得ヘシ
- 一 外國ニ於テ日本人外國人ト婚嫁セントスル者ハ其國或ハ其近國ニ在留ノ日本公使又ハ領事官ニ願出テ許可ヲ乞フヘシ

公使及領事官ハ裁可ノ上本國政府ヘ届出ヘシ

右之通被仰出候條管内無洩相達スルモノ也

(五十一) 外國人傭入心得

明治十年 三月十日

甲第八十七號

外國人傭入心得方之儀左之通公布相成候條此旨布達候事

第貳拾七號

外國人傭入候節ハ左ノ通可相心得此旨布告候事

明治十年三月六日

右 大臣 岩 倉 具 視

一 各官廳ニ於テ外國人傭入候節ハ其國所姓名業務給料住所期限及繼傭解傭共其時々外務省ヘ通知スヘシ

一 人民ニ於テ外國人ヲ傭入ント欲スル者ハ其管轄廳ヲ經由シテ前項ノ件々外務省ニ届出ツヘシ

一 私傭外國人ヲ其業務等ノ都合ニヨリ居留地外ヘ居住爲致度者ハ地方官添書ヲ以テ外務省ヘ伺出共許可ヲ受ヘシ

(五十二) 海外行免狀ノ件

明治十一年 二月廿六日

甲第四拾八號

海外行免狀ノ儀ニ付左ノ通外務省ヨリ布達相成候條此旨布達候事

第壹號

從來當省ヨリ發行候海外行免狀之儀海外旅券ト改稱別紙規則相定候條此旨布達候事

明治十一年二月廿日

外 務 卿 寺 島 宗 則

海外旅券規則

旅券ハ日本國民タルヲ證明スルノ具ニシテ海外各國ニアリテ要用少ナカラサルヲ以テ外務省ヨリ之ヲ

第八類 戶 籍

發行規則左ノ如シ

第一條 旅券ヲ請フ者ハ別紙離形ノ書面ヲ以テ外務省又ハ開港場管廳へ願出之ヲ受取ルヘシ右郵便ヲ以テスルモ苦シカラズ旅券ヲ受取ラハ直ニ其示シアル所へ當人姓名ヲ自記スヘシ

第二條 旅券ヲ受クルモノハ手數料トシテ金五拾錢ヲ納ムヘシ但旅券ハ一人一枚ニ限ルヘシ若シ五歲以下ノ小兒其父母同道ナルトキハ其父母ノ旅券ニ附記スルヲ以テ足レリトス

第三條 内地ニ於テ右旅券受取ル間合之ナキカ又ハ海外ニ於テ遺失シタルカノトキハ其國在留ノ日本公使館又ハ領事館へ其趣ヲ記載セル書面ヲ出タシ自身出頭シテ願ヒ受クヘシ但其手數料トシテ金貳圓ヲ納ムヘシ

第四條 公用ヲ以テ旅行シ官費ヲ以テ留學スル者ハ内地ニアリテハ其官廳ヨリ直ニ外務省ニ掛合海外ニ在リテハ前條ノ趣ニ從ヒ旅券ヲ受取ルヘシ但手數料ハ納ムルニ及ハス

第五條 旅券ハ其趣シヘキ國ノ公使又ハ領事ノ證明ヲ得ル儀其國ニヨリ要用少カラス其節ハ其館ニ就テ直ニ之ヲ請フヘシ但其定規ニ隨ヒ手數料ヲ拂フヘキモノトス

第六條 海外ニアリテハ所持ノ旅券我領事官ノ證明ヲ要用トスルコトアリ其節ハ之ヲ請ヒ得ヘシ但領事官ナキ地ニ於テハ公使館ニ到リテ之ヲ請フヘシ

第七條 旅券ハ歸朝ノ後三十日以内ニ其最初受取リタル官廳へ之ヲ返納スヘシ

郵船等ノ海員常ニ旅券ヲ要スルハ此限ニ在ラス但シ海外ニアリテ我公使又ハ領事官ヨリ受取リタル者ハ外務省ニ返納スルヲ以テ足レリトス

旅券願書式

私儀何々ノ爲某國へ罷越或ハ往來致度ニツキ旅券御渡方奉願候也

明治 年 月 日

何府縣下

第何大區何小區

何國何郡何村何番地又ハ寄留

士族屬職業

何 姓 名 印

年何年何ヶ月

外務省又ハ何府縣御中

右之通相違無之候也

戶長 姓名 印

府知事縣令姓名印

前書之通證明候也

上封

旅券願

外務省或ハ某府縣

何府縣下

何國何郡何驛村

御中

何 誰

旅券文言

官印

右

ニ趣シニ付通路故障ナシ旅行セシメ且必要ノ保護扶助ヲ與ヘラレシコトヲ其筋ノ諸

官ニ希望ス

第八類 戶 籍

年 月 日

二百十

右ハ官員及官費留學生ニ與フル式ヲリ

日本皇帝陛下官位姓名自記

所持人姓名 自記

籍

當 人 姓 名

齡

右ノ者故障ナク通行セシメ且必要ノ保護扶助ヲ與ヘラレノ事ヲ其筋ノ諸官ニ希望ス

年 月 日

日本帝國官位姓名自記

所持 人 手 記

右ハ華士族平民ニ與フル者ナリ共ニ英佛獨魯清文ヲ譯付ス

明治廿五年四月廿八日印刷

同 年四月三十日出版

山梨縣甲府市常盤町八番地

內藤傳右衛門

編 纂 兼  
發 行 者

山梨縣甲府市常盤町七番地

內藤泰次郎

印 刷 者

